

お申込みください。  
 ☒ akita.mirai@akita-nippon.com

**伊勢堂伝縄文館講座**  
**「第2回名誉館長講座」を開催**  
 会場 伊勢堂伝縄文館  
 講師 縄文館名誉館長 富樫泰時氏  
 参加費 無料(先着50人)

**第164回合川公民館るぼた講座**  
**「北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録をめざして」**  
 会場 合川公民館  
 講師 生涯学習課長 長岐孝生氏  
 ※申込不要・参加無料

**合川公民館子育て応援塾**  
**「親子で楽しくふれあい遊び」**  
 会場 合川公民館  
 講師 家庭教育支援チーム「ここと」  
 ※申込不要・参加無料

**「北秋田市景観計画」**  
**パブリックコメントの募集**  
 景観等の保全・形成のため「景観法」に基づいた対象地域、景観形成に関する方針、基準等を定める「北秋田市景観計画」作成のため、パブリックコメントを募集します。  
 くわしくは市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。  
 募集期間 2月10日(月)～3月10日(火)

**森吉公民館講座「これだけはマスターしたい！基本の和食レシピ」**  
 会場 森吉公民館  
 講師 佐藤篤子さん(フマガラ会)  
 定員 先着16人  
 参加費 500円(材料代)  
 申込期間 2月3日(月)～20日(木)

**合川公民館子育て応援塾**  
**「親子で楽しくふれあい遊び」**  
 会場 合川公民館  
 講師 家庭教育支援チーム「ここと」  
 ※申込不要・参加無料

**合川公民館子育て応援塾**  
**「親子で楽しくふれあい遊び」**  
 会場 合川公民館  
 講師 家庭教育支援チーム「ここと」  
 ※申込不要・参加無料

～地域で学び、活動する皆さんを応援します～

北秋田市教育委員会



**支援から協働へ地域と共にある学校づくり**

～合川小地域学校協働本部に文部科学大臣表彰～

「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した合川小学校の関係者が、12月13日受賞報告のため津谷市長を訪れました。

合川小学校地域学校協働本部は、平成25年に活動を開始し、地域コーディネーターが学校と地域のパイプ役となり、双方向の連携・協働がはかられてきました。平成31年4月には、学校運営協議会が発足し地域総がかりでの教育が評価されたものです。

学校運営協議会の関源一会長や合川小学校の木下隆校長は、地域とのパイプ役として活躍している



▲受賞報告をした合川小関係者の皆さん  
 コーディネーターへ感謝を述べるとともに、今後も地域応援団として地域と学校の結びつきを強めたいと話していました。

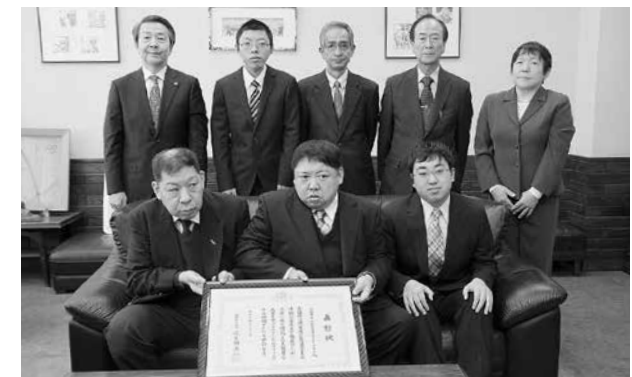
**障害者の生涯学習活動の普及・発展に尽力**

～「ささえ」が文部科学大臣表彰を受賞～

障害者生活支援センター「ささえ」が障害者の生涯学習支援に大きな成果を挙げたとして、文部科学大臣表彰を受賞し、12月24日受賞報告のため関係者が津谷市長を訪れました。

同センターは、平成19年に開設、県北報公会が指定管理者として運営し、平成30年度からは障害者の生涯学習推進事業としてカフェ活動を開始、地域のイベント等に積極的に参加してきました。

この日、市役所を訪れた「ささえ」の関係者は「障害のある人たちの様々な活動を支援してきた。喫茶



▲受賞報告をした「ささえ」の関係者の皆さん  
 活動を通じて、将来お店をもつという目標を持っている」と話しました。

**校訓は「明るく・楽しく・元気よく」**

～冬の笑楽校2020×大人と子どものサポートDAY事業～

今回で10回目となる「冬の笑楽校」が1月8日にふれあいプラザで行われ、北秋田市と上小阿仁村の小学生36人が参加しました。

この日は、昭和化学工業(株)から「けいそう土」、JA葬祭センターから「お葬式」について学んだほか、上小阿仁村生涯学習奨励員の大城戸ツヤ子さんを講師に「洋風あげだまこの中華あんかけ」を作ったり、ニュースポーツ「ポッチャ」「卓球バレー」「スカットボール」を体験しました。

参加した児童たちは、出荷量日本一の「けいそう



▲「けいそう土」を使ったる過実験を見守る土」の特性や初めて体験するニュースポーツに歓声をあげながら、地域と学校の枠を越え交流しました。

**未来・紡ぎ人**

20

このコーナーは、地域の未来に向けて継続して取り組んでいる(紡ぐ)方々を紹介しします。今回は伊勢堂伝遺跡ワーキンググループについて取り上げます。

伊勢堂伝遺跡ワーキンググループ  
 代表 佐藤善寿さん(元町)



Qどのような活動をしていますか？

国指定史跡の伊勢堂伝遺跡のガイドや活用、情報発信活動を行っています。平成9年に「文化遺跡ワーキンググループ」として結成しました。当時、鷹巣町には様々な分野でワーキンググループの活動が盛んでしたが、現在でも活動しているのは、本会のみと聞いています。その後、会の名称変更や運営体制を整え、現在に至ります。

主に土日祝日に伊勢堂伝遺跡のガイドを行っております。今こそ展示施設の「伊勢堂伝縄文館」があり、拠点にして活動していますが、開館する前は遺跡に設置したプレハブで来訪者を待って、ガイドをしていました。遺跡内なので電気や水道もなく、真夏は非常に難儀したこともありましたが、今では良い思い出です。

20年以上も活動している遺跡ボランティアグループは全国でも少ないと聞いています。そのこともあって、平成30年には秋田県特別表彰をいただきました。これは様々な方のおかげで受賞できたと考えています。これからは本会をどのような形で後世に繋げていくかも重要な課題と考えています。

そもそも平成8年に環状列石が3つ発見され、地域住民や県民が遺跡を現地に残してほしいと願った結果、当時の県知事が道路計画を中止し、遺跡を現地保存するという決断をされました。この英断がなければ、現在の世界遺産登録推進活動は全くなかったと考えています。